

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社オリエントコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 8585 URL <https://www.orico.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅宮 真
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤田 智道 TEL 03-5877-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	58,654	△6.7	1,332	△57.9	1,332	△57.9	563	△68.1
2026年3月期第1四半期	62,876	0.3	3,161	△32.8	3,161	△32.8	1,764	△37.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 425百万円 (△61.2%) 2026年3月期第1四半期 1,098百万円 (△59.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	3.29	—
2026年3月期第1四半期	10.31	10.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,947,549	251,019	8.3
2026年3月期	2,844,481	257,188	8.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 244,136百万円 2026年3月期 250,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	5.0	15,000	3.8	15,000	3.8	13,000	0.9	75.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	171,888,020株	2026年3月期	171,888,020株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	694,980株	2026年3月期	702,156株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	171,188,183株	2026年3月期1Q	171,165,412株

(注) 自己株式数には、株式給付信託(BBT-RS)及び株式給付信託(J-ESOP-RS)が保有する当社自己株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

決算補足資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 参考情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種経済政策の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による個人消費の下押しに加え、日本銀行の金融政策正常化を背景とした市場金利の上昇に伴う経済への影響が懸念され、景気の先行きについては不透明感が残る状況となっております。また、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの動向や、金融資本市場の変動など、国内外の経済政策の先行きも不透明であり、これらが各国経済及び金融市場に与える影響については、引き続き十分注視していく必要がありますものと認識しております。

このような状況のなか、当社グループは社会課題の解決と企業価値の向上を基本方針として、「10年後のめざす社会・めざす姿」を再定義した上で、最終年度の到達点を「オリコならではの金融モデルの確立」とする5カ年の中期経営計画に取り組んでおります。

中期経営計画の2年目となる2027年3月期につきましても、AIを活用した業務プロセス変革をはじめとした事業構造改革の深掘を着実に実行し、成長戦略を加速させるとともに競争優位性のある事業基盤の強化に注力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりであります。

営業収益につきましては、カード・融資事業が伸長したものの、不動産売却益の剥落により、前年同期差42億円減少の586億円となりました。

■決済・保証事業

決済・保証事業につきまして、家賃決済保証は、単身世帯数の増加や住宅価格の高騰による賃貸志向の向上等を背景に需要は底堅く、首都圏エリアにおける営業力強化等も寄与し、取扱高は前年同期差で増加しました。売掛金決済保証では、既存加盟店の取扱高伸長に加え、株式会社みずほ銀行との連携強化により新規提携社数が順調に拡大した結果、取扱高は前年同期差で増加しました。

■海外事業

海外事業につきまして、貸倒関係費抑制に向けた与信厳格化により、海外子会社3社合計の取扱高は、前年同期差で減少しました。また、貸倒関係費につきましては、与信厳格化及び回収体制の強化等が奏功し、減少傾向にあります。中東情勢をはじめとする地政学的リスクが各国に与える影響を踏まえ、今後も外部環境の変化を注視しつつ、良質債権の積み上げに努めるとともに、ガバナンス体制の徹底的な強化により、安定的な成長を図ってまいります。

■カード・融資事業

カード・融資事業につきまして、カードショッピングの取扱高は大型提携先での利用が好調に推移したことにより、前年同期差で増加しました。融資残高は、新規取扱いが減少したこと等により、前年同期差で減少となりました。

■個品割賦事業

個品割賦事業につきまして、市場金利上昇分の価格転嫁を行ったこと等により、オートローン及びショッピングクレジットの取扱高は、前年同期差で減少しました。

■銀行保証事業

銀行保証事業につきまして、地域の課題に応じた金融商品・サービスの取り組みを推進したこと等により、保証残高は前期末から増加しました。

営業費用につきましては、金利上昇影響により金融費用は増加したものの、その他の営業費用における不動産売却原価の剥落を主因に前年同期差23億円減少の573億円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期差18億円減少の13億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期差12億円減少の5億円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産の状況につきまして、資産合計は前連結会計年度末の2兆8,444億円から1,030億円増加し、2兆9,475億円となりました。これは主に、短期貸付金の増加によるものであります。

負債の状況につきまして、負債合計は前連結会計年度末の2兆5,872億円から1,092億円増加し、2兆6,965億円となりました。これは主に、有利子負債の増加によるものであります。

また、純資産につきまして、前連結会計年度末の2,571億円から61億円減少し、2,510億円となりました。これは主に、配当金支払いにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

(4) 参考情報

戦略別収益の概況（管理会計ベース）

■個人戦略（個品割賦事業、カード・融資事業等）

個品割賦事業の価格転嫁の実施やカード・融資事業の取扱高の伸長等により、営業収益は前年同期差で増加した一方で経常利益は、市場金利の上昇に伴う金融費用の増加等により、前年同期差で減少しました。成長領域であるデジタル分割及び個人向けオートリースの拡大と個品割賦事業を中心とした事業構造改革の深掘を進めてまいります。

■法人戦略（決済・保証事業、カード・融資事業、銀行保証事業等）

売掛金決済保証及びビジネスカードの取扱高は伸長したものの、前連結会計年度に計上した不動産売却益の剥落により、営業収益、経常利益ともに前年同期差で減少しました。顧客基盤の拡大と取引重層化やビジネスカードを起点とした中小企業(SME)向けソリューションの拡充により更なる事業基盤の強化を進めてまいります。

■海外戦略（海外事業）

海外子会社の取扱高減少に伴い営業収益は前年同期差で減少したものの、貸倒関係費の減少により、経常利益は前年同期差で増加しました。事業構造改革の再構築と効率経営を徹底し、ガバナンス強化を進めるとともに良質債権の積み上げを進め、収益の安定化に取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	154,579	139,354
受取手形及び売掛金	481	431
割賦売掛金	1,315,119	1,341,114
資産流動化受益債権	791,334	774,062
リース債権及びリース投資資産	284,384	294,180
短期貸付金	312	99,975
その他	130,888	134,732
貸倒引当金	△134,747	△136,738
流動資産合計	2,542,352	2,647,112
固定資産		
有形固定資産	84,666	84,852
無形固定資産		
のれん	3,521	3,340
その他	80,252	79,730
無形固定資産合計	83,773	83,070
投資その他の資産	133,027	131,912
固定資産合計	301,468	299,836
繰延資産	660	600
資産合計	2,844,481	2,947,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,882	159,612
短期借入金	172,142	290,070
1年内償還予定の社債	35,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	383,677	376,235
1年内返済予定の債権流動化借入金	16,249	15,285
コマーシャル・ペーパー	316,600	353,500
未払法人税等	2,492	1,205
賞与引当金	5,030	1,911
役員賞与引当金	169	84
株式給付引当金	182	219
ポイント引当金	1,623	1,655
債務保証損失引当金	3,105	3,075
割賦利益繰延	61,005	63,000
その他	258,324	274,128
流動負債合計	1,417,487	1,559,984
固定負債		
社債	215,000	215,000
長期借入金	868,143	840,217
債権流動化借入金	66,825	61,137
役員退職慰労引当金	42	37
株式給付引当金	117	184
ポイント引当金	3,387	3,425
利息返還損失引当金	6,346	6,069
退職給付に係る負債	958	957
その他	8,984	9,516
固定負債合計	1,169,805	1,136,546
負債合計	2,587,293	2,696,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,079	150,079
資本剰余金	741	741
利益剰余金	85,406	79,095
自己株式	△789	△783
株主資本合計	235,437	229,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,488	1,876
繰延ヘッジ損益	△479	△601
為替換算調整勘定	462	495
退職給付に係る調整累計額	13,556	13,232
その他の包括利益累計額合計	15,027	15,003
非支配株主持分	6,722	6,882
純資産合計	257,188	251,019
負債純資産合計	2,844,481	2,947,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益		
事業収益	56,125	56,681
金融収益	296	333
その他の営業収益	6,454	1,639
営業収益合計	62,876	58,654
営業費用		
販売費及び一般管理費	50,238	49,770
金融費用	6,151	7,236
その他の営業費用	3,324	314
営業費用合計	59,714	57,322
営業利益	3,161	1,332
経常利益	3,161	1,332
特別利益		
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	3,161	1,362
法人税、住民税及び事業税	1,317	768
法人税等調整額	551	177
法人税等合計	1,868	945
四半期純利益	1,292	417
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△471	△146
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,764	563

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,292	417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159	387
繰延ヘッジ損益	146	△111
為替換算調整勘定	△282	52
退職給付に係る調整額	△218	△320
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△194	8
四半期包括利益	1,098	425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,686	538
非支配株主に係る四半期包括利益	△588	△112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	決済・ 保証	海外	カード・ 融資	個品割賦	銀行保証	計		
営業収益								
顧客との契約から生じる収益	1,433	—	10,432	1,534	57	13,458	766	14,225
その他の収益	4,818	3,363	6,333	17,154	9,153	40,823	1,076	41,900
外部顧客に対する営業収益	6,252	3,363	16,766	18,689	9,211	54,282	1,842	56,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	0	—	1	1,980	1,981
計	6,252	3,363	16,766	18,689	9,211	54,283	3,823	58,107
セグメント利益又は損失(△)	2,821	△1,124	13,727	8,946	5,420	29,792	888	30,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス等の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,792
「その他」の区分の利益	888
全社費用等(注)	△25,876
その他	△1,642
四半期連結損益計算書の営業利益	3,161

(注) 全社費用等の主なものは、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を除く販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	決済・ 保証	海外	カード・ 融資	個品割賦	銀行保証	計		
営業収益								
顧客との契約から生じる収益	1,556	—	11,129	1,292	47	14,027	780	14,807
その他の収益	4,974	2,832	8,102	14,897	9,678	40,484	1,389	41,874
外部顧客に対する営業収益	6,530	2,832	19,232	16,189	9,725	54,511	2,169	56,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	1	—	1	2,223	2,225
計	6,531	2,832	19,232	16,191	9,725	54,513	4,393	58,906
セグメント利益又は損失(△)	2,769	△2	15,456	6,193	5,648	30,063	542	30,606

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス等の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	30,063
「その他」の区分の利益	542
全社費用等 (注)	△27,586
その他	△1,687
四半期連結損益計算書の営業利益	1,332

(注) 全社費用等の主なものは、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額を除く販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

①営業上の保証債務

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
提携金融機関による顧客に 対する融資等への保証	2,344,085百万円	2,354,878百万円

②他の会社の金融機関からの借入債務に対し、次のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
PT Honest Financial Technologies	2,256百万円	3,448百万円
Honest Financial Technologies International Private Limited	1,119	1,786

(四半期連結損益計算書に関する注記)

事業収益

事業収益には割賦売掛金等の流動化による収益が次のとおり含まれております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
決済・保証	22百万円	35百万円
カード・融資	7,428	9,891
個品割賦	10,917	8,581
その他	△2	△2
計	18,366	18,505

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	4,876百万円	4,810百万円
のれんの償却額	179	181